



2024年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月14日

上場会社名 RPAホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 6572 URL <https://rpa-holdings.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 高橋 知道
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 松井 哲史 TEL 03 (5157) 6388
四半期報告書提出予定日 2023年7月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第1四半期の連結業績（2023年3月1日～2023年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第1四半期	1,448	4.2	100	—	87	—	384	—
2023年2月期第1四半期	1,390	△6.8	△15	—	△24	—	△71	—

(注) 包括利益 2024年2月期第1四半期 381百万円 (—%) 2023年2月期第1四半期 △73百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第1四半期	6.35	6.19
2023年2月期第1四半期	△1.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第1四半期	18,403	11,922	64.6
2023年2月期	18,467	11,514	62.2

(参考) 自己資本 2024年2月期第1四半期 11,898百万円 2023年2月期 11,492百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年2月期	—	—	—	—	—
2024年2月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2024年2月期の連結業績予想（2023年3月1日～2024年2月29日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	3,000	3.5	100	131.9	66	—	30	—	0.50
通期	6,600	10.8	500	63.5	430	433.5	190	194.5	3.14

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2023年7月10日に公表しました「事業の一部譲渡及び特別利益（投資有価証券売却益、関係会社株式売却益及び事業譲渡益）の計上に関するお知らせ」による当期連結業績に与える影響は現在精査中であり、修正が必要とされる場合には速やかに開示いたします。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年2月期1Q	62,040,000株	2023年2月期	61,995,000株
② 期末自己株式数	2024年2月期1Q	1,428,405株	2023年2月期	1,428,405株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年2月期1Q	60,598,388株	2023年2月期1Q	60,930,006株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済状況は、新型コロナウイルス感染症における行動制限の緩和により、経済活動に持ち直しが見られましたが、原油をはじめとした原材料価格の高騰やロシア・ウクライナ情勢の長期化により、国内景気や企業収益に与える影響については依然として先行き不透明な状況です。

こうした環境の中で、当社グループは「BizRobo!」、「RoboRobo」、「Presco（プレスコ）」ともに、既存顧客の継続・拡大、及び新規顧客の獲得に注力しました。また、引き続き「RoboRobo」のプロダクト開発を中心とした先行投資を行いました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,448百万円（前年同四半期比4.2%増）、営業利益は100百万円（前年同四半期は15百万円の営業損失）、経常利益は87百万円（前年同四半期は24百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は384百万円（前年同四半期は71百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間の期首から、報告セグメントの区分を以下のとおり変更しております。

前連結会計年度までの報告セグメントは、データ入力等の定型作業をロボット等の技術を用いて代行するプラットフォーム『BizRobo!』を展開する「ロボットアウトソーシング事業」、成果報酬型広告（アフィリエイト広告）の分野を中心に、広告主とメディアを繋ぐエージェンシーをロボット等の技術により代替するサービス『Presco』を展開する「ロボットトランスフォーメーション事業」、法務・総務等のバックオフィス業務の自動化で生産性向上を実現するクラウドサービス『RoboRobo』を展開する「RaaS事業」の3セグメントとしておりました。

「ロボットアウトソーシング事業」と「RaaS事業」は、アウトソーシングサービスという点で共通しており、販売面、技術面等の連携によりシナジーの発現が見込めることから、当第1四半期連結会計期間より、「RaaS事業」を「ロボットアウトソーシング事業」に統合し、報告セグメントを「ロボットアウトソーシング事業」と「ロボットトランスフォーメーション事業」の2セグメントに再編成することといたしました。

以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

ロボットアウトソーシング事業

ロボットアウトソーシング事業においては、「BizRobo!」、「RoboRobo」ともに導入企業が拡大し、ストック型のライセンス収入が伸長しました。また、コストコントロールの強化により利益率も改善しました。一方で引き続き「RoboRobo」のプロダクト開発を中心とした先行投資を行いました。

その結果、ロボットアウトソーシング事業では、売上高は976百万円（前年同四半期比6.7%増）、セグメント利益（営業利益）は54百万円（前年同四半期比127.0%増）となりました。

ロボットトランスフォーメーション事業

ロボットトランスフォーメーション事業においては、人材カテゴリ、及び新規参入分野の取扱高が伸長しました。また、取扱シェアを高めたプログラムでは手数料率も一部改善したことと、コストコントロールの強化により利益率も改善しました。

その結果、ロボットトランスフォーメーション事業では、売上高は411百万円（前年同四半期比4.6%増）、セグメント利益（営業利益）は127百万円（前年同四半期比138.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は13,840百万円となり、前連結会計年度末に比べ238百万円減少いたしました。これは主にその他の流動資産が271百万円増加した一方で、売掛金が553百万円減少したことによるものであります。固定資産は4,563百万円となり、前連結会計年度末に比べ174百万円増加いたしました。これは主に投資その他の資産が157百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は18,403百万円となり、前連結会計年度末に比べ63百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は5,146百万円となり、前連結会計年度末に比べ217百万円減少いたしました。これは主に買掛金が432百万円減少した一方でその他の流動負債が291百万円増加したことによるものであります。固定負債は1,335百万円となり、前連結会計年度末に比べ253百万円減少いたしました。これは主に社債が190百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は6,481百万円となり、前連結会計年度末に比べ471百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は11,922百万円となり、前連結会計年度末に比べ407百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益を384百万円計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は64.6%（前連結会計年度末は62.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年4月14日の決算短信で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,213,927	11,261,147
売掛金	2,443,758	1,890,655
仕掛品	13,720	9,752
その他	406,889	678,640
流動資産合計	14,078,295	13,840,194
固定資産		
有形固定資産	108,418	102,487
無形固定資産		
のれん	363,222	315,301
ソフトウェア	487,415	510,464
ソフトウェア仮勘定	145,803	193,852
その他	72	72
無形固定資産合計	996,514	1,019,690
投資その他の資産		
投資有価証券	2,886,933	3,066,080
その他	397,406	375,484
投資その他の資産合計	3,284,340	3,441,564
固定資産合計	4,389,273	4,563,743
資産合計	18,467,569	18,403,937
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,885,011	1,452,323
短期借入金	1,500,000	1,500,000
1年内償還予定の社債	424,000	424,000
1年内返済予定の長期借入金	279,296	270,996
未払法人税等	154,083	118,413
賞与引当金	89,700	57,301
その他	1,031,690	1,322,983
流動負債合計	5,363,781	5,146,017
固定負債		
社債	1,128,000	938,000
長期借入金	460,847	397,348
固定負債合計	1,588,847	1,335,348
負債合計	6,952,628	6,481,365
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,902,391	5,908,768
資本剰余金	6,038,918	6,045,294
利益剰余金	31,870	430,687
自己株式	△499,650	△499,650
株主資本合計	11,473,530	11,885,100
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,816	13,043
その他の包括利益累計額合計	18,816	13,043
新株予約権	5,263	5,110
非支配株主持分	17,330	19,318
純資産合計	11,514,940	11,922,572
負債純資産合計	18,467,569	18,403,937

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
売上高	1,390,599	1,448,986
売上原価	552,350	498,178
売上総利益	838,249	950,808
販売費及び一般管理費	853,984	850,266
営業利益又は営業損失(△)	△15,734	100,542
営業外収益		
為替差益	1,428	185
その他	160	251
営業外収益合計	1,588	436
営業外費用		
支払利息	6,595	2,268
支払手数料	510	2,045
投資事業組合運用損	1,149	3,813
持分法による投資損失	—	3,765
その他	2,536	1,433
営業外費用合計	10,792	13,326
経常利益又は経常損失(△)	△24,938	87,651
特別利益		
事業譲渡益	—	76,000
投資有価証券売却益	—	200,252
関係会社株式売却益	—	34,000
特別利益合計	—	310,252
特別損失		
投資有価証券評価損	—	9,980
特別損失合計	—	9,980
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△24,938	387,924
法人税等	48,858	1,119
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△73,796	386,805
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,600	1,988
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△71,196	384,816

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△73,796	386,805
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△5,772
その他の包括利益合計	—	△5,772
四半期包括利益	△73,796	381,032
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△71,196	379,044
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,600	1,988

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ロボット アウトソー シング事業	ロボットト ランスフォー メーション 事業	計			
売上高						
一時点で移転さ れる財又はサー ビス	145,707	393,753	539,461	81,525	—	620,986
一定の期間にわ たり移転される 財又はサービス	769,613	—	769,613	—	—	769,613
顧客との契約か ら生じる収益	915,321	393,753	1,309,074	81,525	—	1,390,599
外部顧客への売 上高	915,321	393,753	1,309,074	81,525	—	1,390,599
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	5,030	—	5,030	3,930	△8,960	—
計	920,351	393,753	1,314,104	85,455	△8,960	1,390,599
セグメント利益又 は損失(△)	24,083	53,373	77,456	△10,055	△83,135	△15,734

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、セールスアウトソーシング事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△83,135千円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の一般管理費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4. 顧客との契約から生じる収益以外の収益はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 2023年3月1日 至 2023年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ロボット アウトソー シング事業	ロボットト ランスフォー メーション 事業	計			
売上高						
一時点で移転される財又はサービス	320,855	411,969	732,824	60,308	—	793,133
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	655,853	—	655,853	—	—	655,853
顧客との契約から生じる収益	976,708	411,969	1,388,678	60,308	—	1,448,986
外部顧客への売上高	976,708	411,969	1,388,678	60,308	—	1,448,986
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,840	11,177	15,017	900	△15,917	—
計	980,548	423,147	1,403,695	61,208	△15,917	1,448,986
セグメント利益又は損失(△)	54,660	127,205	181,866	△6,650	△74,673	100,542

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、セールスアウトソーシング事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△74,673千円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の一般管理費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 顧客との契約から生じる収益以外の収益はありません。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

当社グループの報告セグメントは、従来「ロボットアウトソーシング事業」、「ロボットトランスフォーメーション事業」と「RaaS事業」の3セグメントとしておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、「RaaS事業」を「ロボットアウトソーシング事業」に統合し、報告セグメントを「ロボットアウトソーシング事業」と「ロボットトランスフォーメーション事業」の2セグメントとすることに変更いたしました。「ロボットアウトソーシング事業」と「RaaS事業」は、アウトソーシングサービスという点で共通しており、販売面、技術面等の連携によりシナジーの発現が見込めることから、両事業を統合して一体管理することが、当社グループの事業展開、経営資源の配分、経営管理体制等の実態を踏まえて、当社の状況を適切に把握できると判断したためであります。

なお、前第1四半期連結会計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。